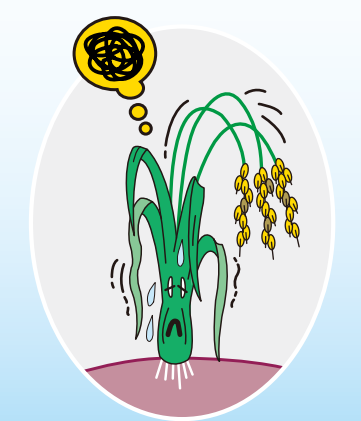
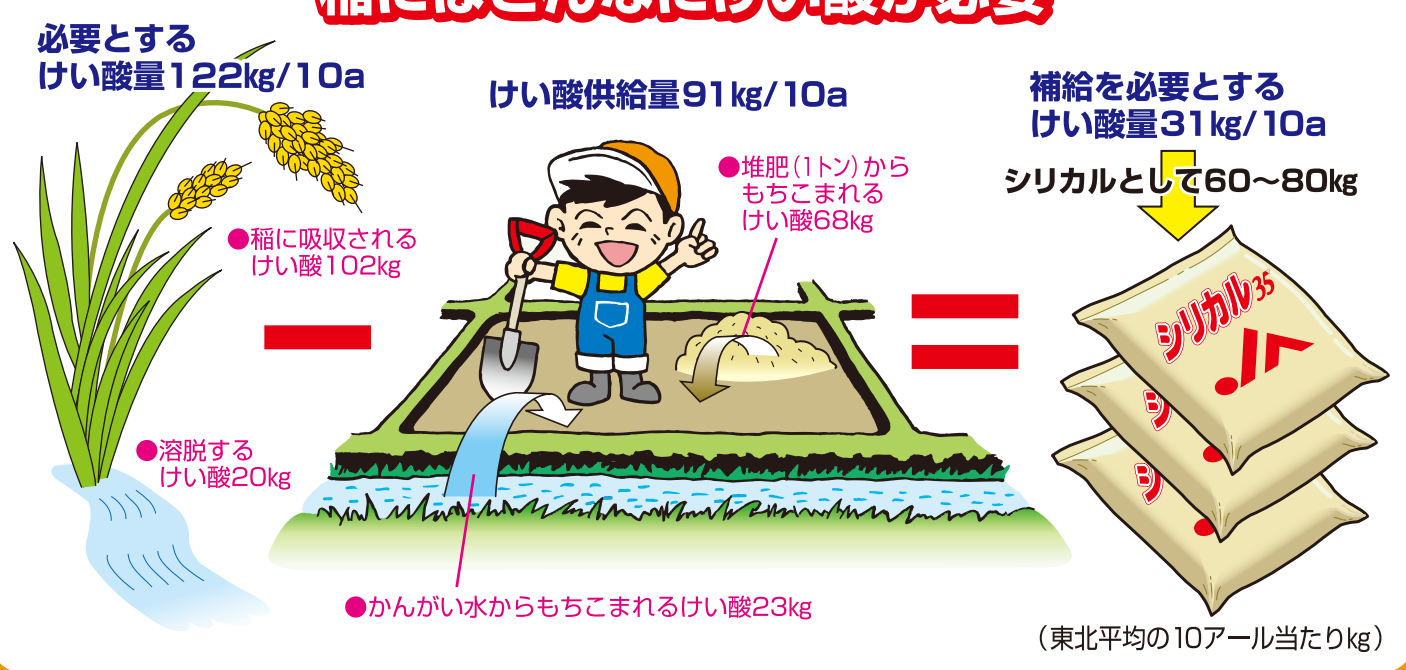


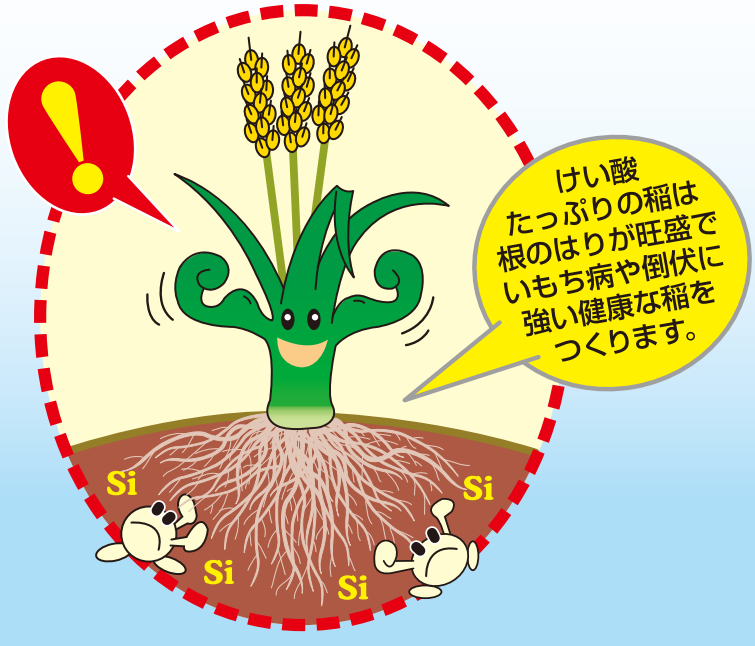
大地と稲を育む高けい酸肥料

シリカル35

稲にはこんなにけい酸が必要



けい酸の少ない稲は根ばりが悪く、病害や倒伏に弱くなり危険信号です。



けい酸 たっぶりの稲は根のはりが旺盛でいもち病や倒伏に強い健康な稲をつくります。

供給 JAグループ

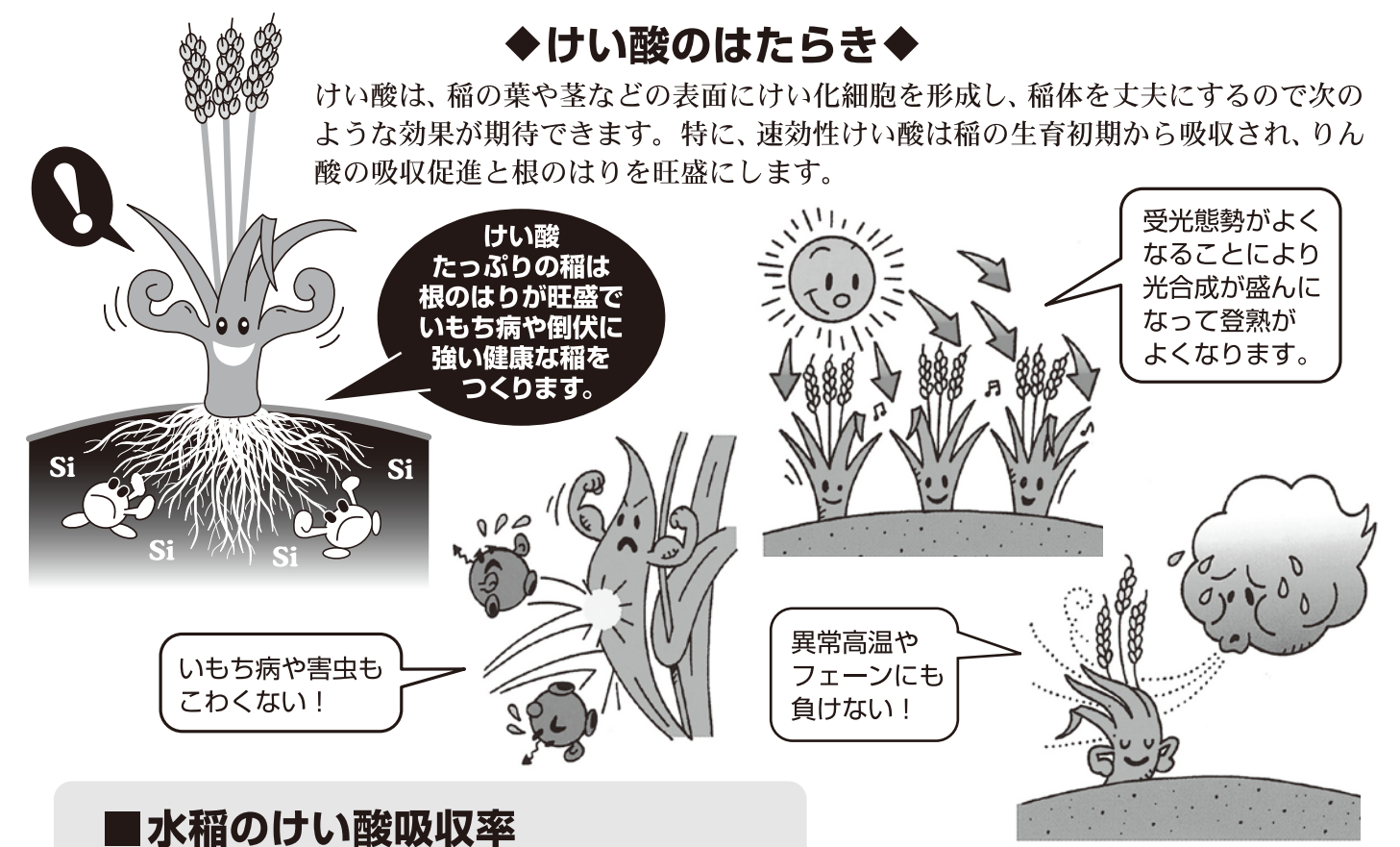
製造 ミネックス(株)

けい酸は、稲のお友達 シリカル35は、けい酸肥料の新エース!!

シリカル35の特長

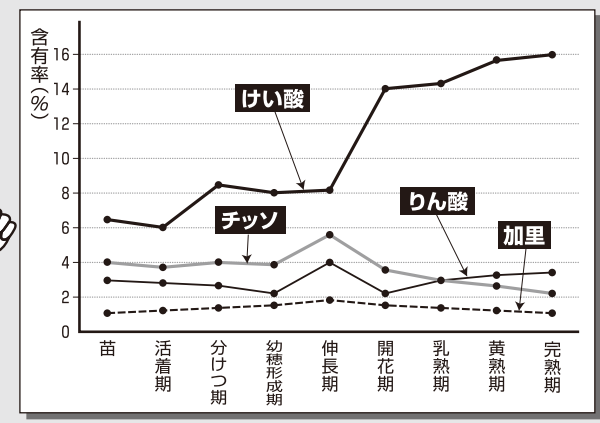
シリカル35は、速効と緩効、2種類のけい酸をあわせもち、稲の生育初期から後期までけい酸を吸収させる特長があり、初期病虫害を軽減し、発根力を高め、さらに中期以降のいもち病や倒伏を軽減することにより登熟の向上に役立ち、環境保全型米づくりを目指す機能的肥料です。

◆けい酸のはたらき◆



■水稻のけい酸吸収率

- 水稻は、チッソの10倍のけい酸を吸収します。
- けい酸は、分けつ期ころから吸収量が多くなり他の成分と違って生育後期までよく吸収されます。



※シリカル35に含む速効性けい酸は、初期から水に溶け出すため、けい酸の供給時期が早まって稲の早期けい酸吸収が高まります。

保証成分

アルカリ分 39.0%

可溶性 けい酸 35.0%

＜溶性 苦土 2.0%

施用量

●水田10アール当たり
60kg~80kg (3袋~4袋)

施用時期

シリカル35は、速効・緩効の2種類のけい酸をあわせてもっておりますので春施用をおすすめします。

※詳しい使い方については普及指導機関、またはJAにご相談下さい。